

# 地域づくり

通信  
第23号  
平成27年3月

## 広がる地域の輪 みんなが協力して課題を解決！



平成27年2月10日に開催された地区別計画推進研修会では、第3期瀬谷区地域福祉保健計画の基本理念・基本目標を盛り込んだ「地区別計画策定・推進にあたって」がお披露目され、「地域全体で取り組む」といった方向性・視点についての説明がありました。（4面参照）各地区では、現在も課題を解決するため、様々な団体が手を取りあって取り組んでいます。そんな取組をサポートする制度が「瀬谷区地域運営補助金」です。今年度は、7地区がこの制度を活用して地域の課題解決に向け地域全体で取り組んでいます。本号では、各地区の一年の成果を一部ご紹介します。



本郷お助け隊見守り支えあい実行委員会

### ～地域一体となった見守りがスタート～

本郷地区では、第3期地域福祉保健計画策定に向け、地区連合と地区社協との連携を深めています。その一環として、75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に「防災グッズ」を配付し、「災害時に備えた日常の見守り」に本郷地区一体となって取り組み始めました。

防災グッズは、ホイッスルや給水タンク、軍手、大判ウェットタオル、懐中電灯など、使い勝手が良いもの10点をチョイス。自治会の班長や民生委員が対象者に配付し、「みなさんに見守られてとても心強いです」といった声もいただいています。



防災グッズを配付！みんなで見守ります！



せやまる

地域ではみんなが協力して取り組んでいるよ!!  
つづきは中面を見てね



## ❁ 阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会 ❁

### ～みまもりの家がみんなの居場所に～



みまもり市で大賑わい

阿久和向原第二公園内にある「みまもりの家」では、朝の体操や健康マージャン、歌声広場など様々なイベントが定期的開催されています。「そこに行けば誰かがいる」のスローガンのとおり、大人や高齢者はもちろん、放課後の子どもたちの勉強や遊びのたまり場になったりと、みんなが気軽に集える拠点となっています。今年度は、地元野菜の提供や餅つきなどテーマを決めて月1回「みまもり市」を開催し、多くの人たちが訪れました。

## ❁ 瀬谷第二地区 高齢者・障害者の防災と福祉の実行委員会 ❁

### ～まち歩きをして災害時に役立てる～



まち歩きでの課題と対策を報告

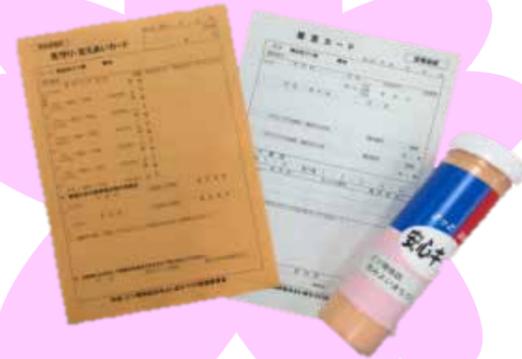
災害時に備え、高齢者や障害者を支援するため、日頃から見守りの活動を進めようと「防災グッズ」と緊急時連絡先を記載した「ふれあいカード」を配付しています。また、災害時での危険なものや役立つ地域資源を確認するため、瀬谷第二地区すべての自治会で「まち歩き・マップづくり」を実施。3月の研修会で、複数の自治会から「要援護者の視点でまち歩きをした」「危険な個所などの課題を見つけ、その対策を行った」など特長ある報告がされました。

## ❁ 三ツ境地区住みよいまちづくり推進委員会 ❁

### ～子どもも含めた地域全体の見守りを推進～

発災時に備え、自治会単位で日常の見守りを取り組むため、支援内容などを記載する「支えあいカード」を全戸に配布し、77%が回収されました。その結果、高齢者だけでなく、両親の不在時の子どもの見守りを希望する世帯が多くあることがわかりました。これをもとに地域全体で見守りができるよう取り組んでいます。

また、緊急時のために持病やかかりつけの病院などが記載された「緊急カード」と保管容器を全世帯に配布し、自宅で保管してもらっています。



支えあいカードと緊急カード

## ❁ 第四地区のきずな ❁

### ～防災と日常の見守り活動の推進と連携～

第四地区のきずなでは、防災組織(自治会)と日常の見守り組織(民生委員)の連携を強化し、災害時の支援体制を整えています。

家族構成や緊急連絡先、災害時要援護者の有無などが記載された「会員カード」は、今年度すべての自治会で作成されました。また、自治会ごとに自治会長と民生委員が進め方を話し合い、災害発生時の要援護者等の情報を落とし込んだ「防災・見守りマップ」の作成に取り組んでいます。



自治会長と民生委員が知恵を出し合います!

## ❁ 細谷戸ビーハイブ実施委員会 ❁

### ～世代を超えて集まる・楽しむ～



子どもたちを交え意見交換

地域のみんで子どもを育む取組の一つとして第4回「地域と子どもの交流会」が2月に開かれました。今回は、じゃんけん大会やカロリングで楽しんだり、カレーライスを食べるだけでなく、高齢者と子どもたちが一緒にテーブルを囲んで、お菓子を食べながら「細谷戸地区でどんなことをしたら楽しいか」を話し合いました。

「まちにお花を植えたい」「集会所をみんなが交流できるよう開放してほしい」「手づくりのごみ捨て禁止看板でまちをきれいにしたい」といった意見があり、とても盛り上がりました。

## ❁ 南瀬谷地区地域福祉保健計画推進協議会 ❁

### ～あいさつからはじまる地域の支え合い～



ティッシュ配りであいさつ運動をPR!

南瀬谷地区では、誰もが身近な地域で安心して暮らせるまちをつくるため、推進協議会の中に「コミュニケーション」と「地域サポート」をテーマに活動を展開しています。

「コミュニケーション」では「あいさつ運動」を展開し、地域のつながりのきっかけづくりを目指しています。「地域サポート」は住民の特技や資格を、地域の活動や助け合いに活かすため、3000戸の全戸アンケートを実施し、途中集計では160人を超える申し出がありました。

## 第3期瀬谷区地域福祉保健計画 地区別計画策定がスタートします！

2月10日に地区別計画推進研修会が開催され、そこで「地区別計画策定・推進にあたって」がお披露目されました。これは第3期地域福祉保健計画策定懇談会で、様々なご意見をいただきまとめたものです。これから各地区で第3期計画の策定が本格的にスタートします。そこで、地区別計画策定にあたっての「3つの方向性・視点」をせやまるがご紹介します！



### 第3期地区別計画策定にあたっての 3 つの方向性・視点

#### 方向性・視点 1 地域福祉保健計画を「暮らしやすいまちづくりの計画」として捉える



地区別計画は、地域の様々な課題を地域の支え合い・助け合い(自助・共助の取組)で解決して、「暮らしやすいまちづくり」を進めていこうとするものだよ。これまで、地区別計画に位置付けていない取組も地域の課題解決につながっていることがあると思うんだ。今、地域で行われているいろんな活動を「暮らしやすいまちづくり」の視点で見直してみよう！

#### 方向性・視点 2 地域全体で取り組む



地域福祉保健計画を「暮らしやすいまちづくりの計画」として捉えた場合、いろんな人のチカラが必要になると思うんだ。だから、地区別計画の策定や推進をするときは、多くの人に関わることができるような仕組みや体制を検討して地域全体で取り組んでみよう！

#### 方向性・視点 3 「基本理念・基本目標」を実現するための取組を検討する



下の看板に掲げている「基本理念と3つの基本目標」を瀬谷区共通の重点課題として、各地区の特徴を活かして取り組んでみよう！

基本理念 みんなでつくる みんなのしあわせ  
基本目標 隣近所で見守り・支え合う地域づくり  
基本目標 健康で長寿な地域づくり  
基本目標 誰もが活動に参加する地域づくり



説明を熱心に聞く参加者



この写真は、地区別計画推進研修会の様子。参加者から「今後の活動を円滑に積極的に進めていくのにとっても参考になった。」「実際に地区別計画に取り組むのは、自治会や地区社協、民生委員などみんなの力が必要である。」「地域の人一人でも多く、他人任せをやめて自分たちの地域のことと考えていけるように働きかけていきたい。」といった感想があったよ。

#### お問い合わせ先

瀬谷区役所地域力推進担当

TEL 045(367)5789

FAX 045(365)1170

〒246-0021

横浜市瀬谷区二ツ橋町190番地

#### 編集後記

地域運営補助金は、見守りや防災だけでなく、連携した団体が、課題を解決するための継続的な取組であれば、対象となります。詳しくは、地域力推進担当までお問い合わせください。

なお、27年度の地域運営補助金の募集は、4月の区連会を通してお知らせします。